

北緯40度 そぞろある記



工夫で絵本楽しく

村教委主催の読み聞かせ講座が3月6日、役場で開かれました。村内から10人が参加し、実演などを通じて読み聞かせのこつやその効果を学びました。

講座は青森県八戸市の平間恵美小中野児童館長

(写真右端)が講師となり、子どもたちを引きつける絵本の選び方や読み聞かせの工夫などを紹介。自らが製作した大型絵本や仕掛け絵本の読み聞かせを実演しました。(写真)平間館長は「読み聞かせは聞き手の子どもたちが理解できなければだめです。ちょっとした工夫や見せ方で興味を引くことが大切です」と話しました。



29人の園児巣立つ

普代児童館(野崎貞信館長、園児69人)の卒園式が3月23日行われ、年長組の園児29人が思い出いっばいの同館を巣立ちました。

園児たちは一人ひとり園長先生から卒園証書を受け取り、「小学校に行ったら勉強や運動を頑張ります」などと元気良く発表。お父さんやお母さんはビデオやカメラを片手に成長したわが子の姿に目を細めていました。退場では卒園証書を高々と上げ、3年間過ごした同館に笑顔で別れを告げました。(写真)

普代チームが優勝

18年度シルバー冬季スポーツ大会のゲートボール競技が2月7日、村社会体育館で行われ、普代チーム(写真)が優勝しました。

総当たり戦で行われた大会には5チーム21人が参加。「カーン」という甲高いボールを打つ音、「ハイ、1番上がり」など平均78.9歳という年齢を感じさせない元気はつらつのプレーで、日ごろの練習の成果を競い合いました。

大会結果は次のとおりです。①普代(4勝) ②たいよう(3勝1敗) ③茂市(2勝2敗) ④堀内(1勝2敗) ⑤事務局(4敗)

